

諸 行 動 第 142 回 『運輸の日』
 日 時 2022 年 11 月 17 日 (木) 10:00~14:30
 場 所 東神トラックステーション
 行 動 者 浅井 義昭(丸全昭和運輸労働組合)
 中野 一徳(全日通労働組合神奈川支部)
 浅野 隆司(ヤマト運輸労働組合湘南支部)
 阪本志津喜(日新労働組合)
 渡邊 拓哉(ヤマト運輸労働組合厚木支部支部)
 配布枚数 53 部配布

行動 4 日目、東神トラックステーションにて、各種調査を 5 人で行いました。東神トラックステーションはトラックドライバーの休憩や休息の場として大切な場所です。本日も、ドライバーさんに『安全運転』への呼びかけと、トラック運輸業界が若年層の就業先として選択されるように、労働関係法が遵守されているのかの実態調査も行いました。調査は昨日同様に、①60 時間超の時間外について、企業に法律が代わる事を伝えるために、経営者に渡してもらう。②有給取得出来ますか？何日くらい取得出来ますか？③36 協定ってご存じですか？どなたが締結しているか知っていますか？



ドライバーの方は、①について、会社は気にしている様ですが、どうなるのか？手当ですから。②については、取得出来ている。会社が 5 日間は取れとうるさくいわれる。③については、36 協定は知っている。誰が締結者なのかは知らないという回答でした。

多くのドライバーの方は、60 時間超の割り増しについて、会社に言とく!と応えてくれましたし、有給取得もできている様です。



阪本志津喜(左:日新労働組合)
 中野 一徳(右:全日通労働組合神奈川支部)



渡邊 拓哉(左:ヤマト運輸労働組合厚木支部支部)
 浅野 隆司(右:ヤマト運輸労働組合湘南支部)

【行動者の感想】

アンケートとしては働き方改革の実態としての有給取得と36協定の認知度やそもそもの協定の有無について聞いてみました。

結果として有給休暇はそれなりに取れてはいる様ですが、36協定以前に残業管理についての知識に乏しい方も特に若い人でいた事には驚きました。

逆に年配者の方は諦めている感じで、歩合制で気にしていない方もおられました。

残業60時間超の割増や2024問題についての業界としての教宣がもっと必要であると思いました。

浅井 義昭(丸全昭和運輸労働組合)

今回は36協定の認知度についてと年休取得状況の聞き取りをしながら、組合ビラを配布しました。

36協定の内容を知っているドライバーは私が聞き取りをした限りでは、一人もいませんでした。時間外の上限規制へは、各会社とも対策をしているようでした。

年休は、あまりとれていないドライバーがほとんどでしたが、休日は休めているとの回答が多くありました。

以前に比べると、疲れきった様子のドライバーはかなり少なくなった感じがしました。

私自身、この東神トラックステーションでの組織拡大行動は、久しぶりでしたが、駐車スペースが満車で止められないトラックがたくさんいる状態は変わっていないようなので、トラックドライバーが落ち着いて休憩できる場所がもっとたくさんあればいいなと思いました。

中野 一徳(全日通労働組合神奈川支部)

今日の組織拡大行動はヤマト労組厚木の渡邊執行委員と行動させて頂きました。

来た当初はカーテン率が高く難航してましたが、昼近くなり動きが出てきた中での聞き取り調査となりました。午前中は10台近くの聞き取りとなり、ほぼほぼ有給は貰っていて使わせてもらってるとの事。職場代表については、ん~と言う答えが多かったです。

午後数台お声をかけさせて頂きましたが、有給は頂いてると。職場環境は改善されてるが皆さん労働時間については濁してました。

労働時間と給料が直結してるのが良くわかった本日の行動でした。

浅野 隆司(ヤマト運輸労働組合湘南支部)

アンケート調査では、有給休暇の取得状況、36協定の締結状況と代表者の選出方法については、組合がある会社に関してはしっかり取り交わされてるし理解度も取得状況も高かった。やはり組合の重要性など改めて再認識しました。世間にも発信して頂きたいと思います。

阪本志津喜(日新労働組合)

運送業の実態調査という事で、1.有給はしっかり取れているか？ 2.三六協定について、協定を結んでいるか？等マウエットティッシュを配布しながら、アンケート調査を行いました。

まず1.の有給はしっかり取れているか？という質問に関しては、ほぼほぼ取れているという回答が多かったです。

私が約20年程前、一般の運送屋にいた頃に比べると有給の取得率の多さに驚きました。

しかし、2の三六協定については、大手の会社ではちゃんと契約を交わしているようだが、地方ナンバー車に関しては協定への反応は薄く、協定自体知らない運転手が多かったです。

今日のような活動をしていきますと、三六協定の認知度が広がり、運転手さんも権利を主張できるようになりますので、これからも頑張って活動して行きたいと思います。

渡邊 拓哉(ヤマト運輸労働組合厚木支部支部)